

都市再生整備計画 フォローアップ報告書

古河駅西口地区

平成26年2月

茨城県古河市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指 標		単位	従前値	目標値	事後評価					フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
					評価値	見込み・確定の別		目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	各施設の利用者数(来訪者数)	人/年	62,136	75,000	58,695	確定		△	あり	60,372	H25年4月	△	－	☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	東日本大震災等の影響もあり、目標値を達成することはできなかったが、その後、各施設の利用者数は増加してきている。
指標2	まちなか歩行者数	人/日	1,838	2,200	1,701	確定		△	あり	1,890	H25年12月	△	－	☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	観測地点(鍛冶町通り、坂長本店)の周辺整備に伴い、歩行空間や周辺環境等が整備・改善されたことにより、目標値を達成することはできなかったが、まちなか歩行者の増加につながった。 また、調査結果を踏まえると、鍛冶町通りの整備完了後における歩行者数の更なる増加も見込まれる。
指標3	地域住民によるまちづくり組織数	組織数	5	7	10	確定	●	○	あり		H一年一月		－	☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	まちなかの活性化に向けた様々な団体の取り組みが継続的に行われており、地域住民のまちづくりやおもてなしへの意識が高まってきている。
指標4	－	－	－	－	－	確定		－	あり	－	H一年一月	－	－	☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	－
指標5	－	－	－	－	－	確定		－	あり	－	H一年一月	－	－	☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	－

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指 標		単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
					評価値	見込み・確定の別		達成度				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	七福神めぐり参加者数	人	300		1,705	確定	●		2,000	H25年1月		－	☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	イベントの継続的な実施とともに、各施設でのPRや告知活動等により参加者の増加につながり、評価値を上回っている。
その他の数値指標2	古河朝市来場者数	人	8,000		13,000	確定	●			H一年一月		－	☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	都市再生整備計画での事業の実施に伴う利便性の向上や、イベントの開催による地域住民と来街者との交流が広がり、商業や観光の活性化にもつながっている。
その他の数値指標3	－	－	－		－	確定			－	H一年一月		－	☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	－

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4ー③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5ー③に記載した 今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	地域の歴史・文化に触れあえる環境の充実と地域情報 の継続的な発信	・徒歩での回遊コースやレンタサイクルでの周遊ルートの設定	・古河市への来訪者及び各施設の利用者の増加 につながった。	・参加者の拡大や新たなコースの設定を図っていく必要がある。
	快適な歩行環境づくり	・鍛冶町通りにおける歩道の整備 ・蔵の活用(飲食店・お休み処)	・歩道整備により歩車分離が図られ、ゆとりのある 歩行空間を確保できたことから、通行の安全性が 向上した。 ・蔵を活用した店舗(飲食店やお休み処)への利 用者の増加につながった。	・事業の早期完了を目指し、鍛冶町通りの残る整備中区間の整備を進 めていく。
	まちづくり活動の継続的な取り組みの促進	・青年企画提案活動事業に基づき、若者による新たなまちづく り活動に対して、資金や場所、広報活動等に関する支援を実施	・市民主導のイベント等に多数の参加者があり、ま ちの活性化につながった。	・地域の自主的・主体的な活動について支援を行っていく。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するた めの改善策 ・残された課題・新たな課題への 対応策 ・その他 必要な改善策	地域の様々な情報のネットワーク化	・市ホームページのリニューアルによるPRの強化 ・市役所をはじめとする関連機関での情報提供・PRの実施	・駅西口地区や施設への来訪者、様々なイベント 等への参加者の増加につながった。	・今後も引き続き、情報発信・PRを行っていく。
	街並み・景観の保全・活用に向けた取り組み	・歴史ある蔵の移築による街並みづくり	・歴史あるまちとしての風情ある街並み形成につ ながった。	・歴史的建造物を活かしたまちづくりを進めるとともに、地域住民参加 による街並み・景観の保全体制を確立していく。 ・景観等に関するガイドラインの策定に向けた取り組みを進めていく。
	まちづくり組織間の連携やネットワーク化	・マラソン大会(古河はなももマラソン大会)の開催を通じた、関 係団体やボランティア等の連携	・市内各種団体やボランティア間の新たなネット ワーク形成のきっかけとなった。	・組織間の連携やネットワークを継続的なものにしていく。

事後評価シート 添付様式5ー③から転記

様式4ー④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
・市民が行きかい、魅力あふれるまちづくりの核となる市民 サービス拠点の設置	・駅前にある市有地を活かし、(仮称)古河駅西口前複合施設を建設し、まちなかの活性化につ なげる。	平成26年度以降	・都市再生整備計画(地方都市リノベーション事業)の活用を含めた、事業手法や財源の検 討
・市民や来街者が楽しく回遊できるアートストリートづく り	・古河駅西口地区内の商店街でのシャッターアートや電柱アート等を実施し、市民は じめとして、当該地区を訪れる人々の回遊を促し、まちなかの活性化につなげる。	平成26年度以降	・関係機関(商店街や東京電力)等との調整・協議
・地区を盛り上げる食べ歩きイベント「こがバル・ウォー ク」の開催	・古河駅西口地区内の飲食店等をはじめとする様々な店舗が参画して、地区内を食 べ歩くバルウォークイベントや参加型・体験型イベントを開催し、当該地区を訪れる 人々を回遊させるとともに、関わる人々の交流を広げ、商店街や地区の活性化につな げる。	平成26年度以降	・関係機関(古河市、古河市観光協会、商店街)等との調整・協議
			・